



2名の方から献眼を頂きました

去る9月9日、砺波市の70歳代の男性より献眼していただきました。元となみセントラルLCメンバーで、長い間大変ご尽力してられました。昭和61年に献眼登録をされており、そのご意思を生かしての提供でした。森常務理事より感謝状の伝達が行われ弔辞も奉読され、事務局より片境が参列いたしました。

去る9月21日、上市町の50歳代の男性より献眼をしていただきました。主治医の先生からの選択肢の提示による提供でした。事務局が感謝状を持って参列させていただきました。

ありがとうございました

続報

前理事長・名誉理事 故高田 眞氏を偲んで



特別寄稿 常務理事 森 弘
(富山雷鳥ライオンズクラブ所属)

9月4日（日曜日）お別れの会が「オックス・カナルパークホテル富山」で、アイバンク関係者、ライオンズクラブメンバー及び関係団体からも大変に多くの方が参列される中、執り行われました。

故高田 眞氏は、1971年2月に富山ライオンズクラブに入会され、クラブ会長に就任された後、1989年7月に334-D地区1R1Zチェアマン、1992年7月に同地区1Rリジョンチェアマン就任されるとともに、財団法人富山県腎臓バンクの理事や更生保護法人富山県更生保護事業協会の副理事長に就任される等、多くの社会貢献をされました。

アイバンクの関りは、ライオンズクラブとの関係から、1992年12月より評議員に、1994年2月より理事に、1996年3月の理事から2002年4月からの副理事長を経て、2002年12月より2011年6月迄の間、3代目理事長として就任されるとともに、財団法人日本眼球銀行協会の評議員を務められ、その後は名誉理事として、長きにわたり当アイバンクを支えていただきました。

思い起こせば理事長に就任された時期に、当クラブにもゲストスピーカーとして訪問をいただき、アイバンクの歴史について話され、献眼登録推進について熱く語られたことを思い浮かべます。

1997年7月に発行された「三百字の遺言」には、次のように寄稿をいただきました。

<遺言 最後の社会奉仕>

今年で72歳になったのに、まだ若い気持ちで50歳代のように思い、死というものを考えた事がない。ただし、毎日の新聞を見る時に一番最初に見るのは、死亡案内欄。知った人が載っていると、ああ、あのひとと俺とはいくらか年齢の差がないとなると、俺もいつかは此のように新聞に出る日が必ず来る。その時の準備に先ず、人に迷惑をかけないように、個人、会社の借金の返済等を考えておかねばならぬ。家族や会社にはなる丈負担がかからないように、平生より計画を立てて、いつも頭の中に貸借対照表を置いて考えて経営を行っている。それと大事なものは、二つの眼が閉じたならば、富山医科薬科大学へ、親爺は献眼登録したあるから移植をお願いします、と連絡して欲しい。日本では角膜移植を一日千秋の思いで待っている人が五千人以上いるのが現状である。眼球摘出は少し可哀想と思うかも知れんが、二つの眼球が二人の人に役立つならば幸せだ。此れが俺の最後の社会奉仕だ。気にかかる事はないから速やかに連絡を頼む。此れが俺の遺言です。

遺言により献眼をされるとともに、富山県アイバンクに三百万円のご寄附を頂きました。

誠にありがとうございました。

在りし日のお姿を偲んで.....

合掌

高岡アラートライオンズクラブにて

去る9月14日、高岡アラートライオンズクラブにてクラブ訪問をさせていただきました。
「ライオンズクラブと富山県アイバンク」と題しスライドにて事務局片境が発表させていただきました。お忙しい中貴重なお時間をいただきありがとうございました。



ライオンズクラブ国際協会334-D地区2R2Zガバナー公式訪問にて

去る9月21日ライオンズクラブ国際協会334-D地区2R2Zガバナー公式訪問にて、氷見ライオンズクラブ・高岡伏木ライオンズクラブ・新湊ライオンズクラブ・小杉ライオンズクラブより記念事業として寄付金を賜りました。
2R2ZC渡邊一三氏より牧副理事長へ寄付金が贈呈され、牧副理事長がそれぞれの会長へ感謝状を贈呈いたしました。本当にありがとうございました。



小杉ライオンズクラブ



新湊ライオンズクラブ



氷見ライオンズクラブ



高岡伏木ライオンズクラブ

寄附金・賛助会費・募金に関するご報告 (9/1～9/30まで)敬称略

法人寄付金

2R2Zライオンズクラブ・・・80,000円

寄付金

牧 亨(高岡伏木LC)・・・100,000円

野村 謹吉(砺波LC)・・・30,000円

森 弘(富山雷鳥LC)・・・20,000円

中尾 順一(黒部LC)・・・10,000円

屋根 慎二・・・5,000円

募金

高岡アラートライオンズクラブ 4,374円

ご芳志ありがとうございました

《9月の事業実績の概要》

・献眼登録者数	0名
年度累計	3名
・献眼者数	2名
年度累計	11名
・奉仕銀行助成金	0円
年度累計	0円
・寄附金収入	245,000円
年度累計	583,000円
・賛助会費収入	0円
年度累計	618,000円
・募金収入	4,374円
年度累計	38,080円
[寄附金等収入合計]	1,239,080円